

水性硬質ウレタンコンクリート系塗り床材 ユータックコンプリート立上り工法

ユータック コンプリートはウレア・ウレタン樹脂の有機成分とセメント・セラミックの無機成分を配合した有機・無機ハイブリッド系の塗り床材です。セメント・セラミックがもつ耐摩耗性・耐熱性とウレア・ウレタン樹脂がもつ弾性・耐薬品性を複合した特性の優れた塗膜を形成します。これら特性を維持したまま立上り専用の工法を設定しました。

特長

◆環境対応型塗り床材



- 鉛、トルエン、キシレン、エチルベンゼンなどを使用していません。
- シックハウス症候群の原因とされている『ホルムアルデヒド』をはじめ、厚生労働省の室内濃度環境指針の14物質を使用していません。

◆耐熱性

高温時でも塗膜軟化が生じにくいので、釜下・釜回りなどの過酷な条件下でも長期にわたり美観・塗膜性能を保持します

◆仕上がり外観

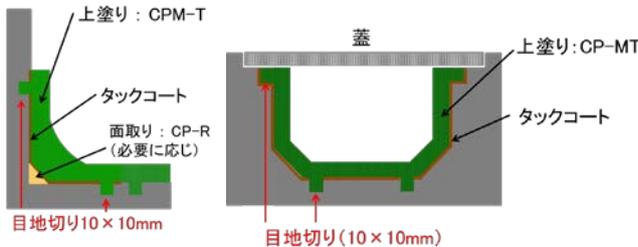
床面と同様の材料を使用しているため、平場と同等の仕上がり外観になります。

各工法の概要

立上り工法には塗装箇所や要求性能に応じて2つの工法を設定しました。

- 【厚膜立上り工法】… ■耐熱性:120℃ 釜下や側溝などにも適応可能な耐熱性を重視した工法
- 【薄膜立上り工法】… ■耐熱性:100℃ ローター塗りが可能な簡易工法

厚膜立上り工法 納まり図



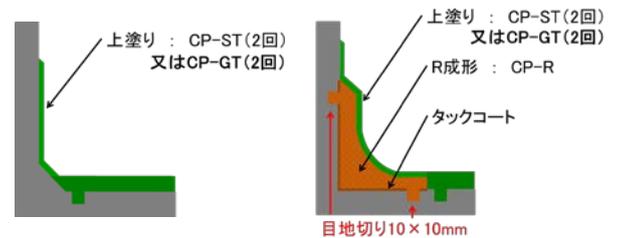
壁、幅木

側溝

厚膜立上り工法 工程

工法名		厚膜立上り工法	
塗装部位		壁	幅木 側溝
塗装工程		2回	
工程	下地処理		レイトンス除去 端部目地切り10×10mm 面取り(必要に応じ)
	下塗り	名称	タックコート
		塗装方法	ローラー・刷毛
		塗布量	0.1~0.3kg/m ²
	上塗り	名称	CP-MT
		塗布量	8~12kg/m ²
耐熱性		120℃	

薄膜立上り工法 納まり図



壁

幅木

薄膜立上り工法 工程

工法名		薄膜立上り工法	
塗装部位		壁	幅木
工程	下地処理		レイトンス除去 端部目地切り10×10mm
	下塗り	名称	CP-ST/CP-GT
		塗装方法	ローラー・刷毛
		塗布量	0.1~0.3kg/m ²
	中塗り	名称	CP-R
		塗布量	6~10kg/m ²
	上塗り	名称	CP-ST/CP-GT
		塗装方法	ローラー・刷毛
		塗布量	0.1~0.3kg/m ²
耐熱性		100℃	100℃

== 厚膜立上り工法 混合比 ==

工法	共通		厚膜立上り工法
工程名	タックコート		上塗り
略号	-		CP-MT
雰囲気温度	5~20℃	20~35℃	5~35℃
混合比	コンブリート A液	1kg ^{※1}	1kg ^{※1} 2kg
	コンブリート B液	1kg ^{※1}	- 2kg
	コンブリート夏型 B液	-	1kg ^{※1} -
	コンブリート Tパウダー	1.5kg	1.5kg -
	コンブリート Mパウダー	-	- 18kg
	コンブリート 着色トナー	-	- 0.3kg
	ミルコンMS-2	-	- 0.4kg

※A 液、B 液は正規荷姿(2kg、4kg)から小分けしてください。

== 薄膜立上り工法 混合比 ==

工法	薄膜立上り工法			
工程名	R成形	上塗り		
略号	CP-R	CP-ST		CP-GT
雰囲気温度	5~35℃	5~20℃	20~35℃	5~35℃
混合比	コンブリート A液	0.5kg ^{※1}	1kg ^{※1}	1kg ^{※1} -
	コンブリート B液	0.5kg ^{※1}	1kg ^{※1}	- -
	コンブリート夏型 B液	-	-	1kg ^{※1} -
	コンブリートG A液	-	-	- 1kg ^{※1}
	コンブリートG B液	-	-	- 1kg ^{※1}
	コンブリート Tパウダー	-	1.5kg	1.5kg 1.5kg
	コンブリート Mパウダー	-	-	- -
	コンブリート Rパウダー	6kg	-	- -
	コンブリート 着色トナー	-	0.3kg	0.3kg 0.3kg

※A 液、B 液は正規荷姿(2kg、4kg)から小分けしてください。

== 標準色 ==

■厚膜立上り工法 CP-MT



■薄膜立上り工法 CP-ST、CP-GT 共通



== 各材料の可使用時間の目安 ==

工法	共通		厚膜立上り工法	薄膜立上り工法		
工程名	タックコート		上塗り	R成形	上塗り	
略号	-		CP-MT	CP-R	CP-ST	CP-GT
雰囲気温度	5~20℃	20~35℃	5~35℃	5~35℃	5~20℃	20~35℃ 5~35℃
可使用時間の目安	7分	7分	15分	20分	7分	7分 20分

== 注意事項 ==

- 下地処理ではレイタンスを除去してください。
- CP-ST やタックコートは可使用時間が短いので素早い作業となります。
- タックコート塗装後は直ちに CP-MT や CP-R を塗装して下さい。
タックコートの乾燥が進むと付着性が低下します。
目安:タックコート塗装後 1 時間以内(23℃)
- CP-ST や CP-GT は毛の抜けづらいローラーでの施工をお願いします。